

財務比率で見る経営分析（事業活動収支計算書より）

はじめに 財務比率は多くある。共済事業団の手引きから、代表的な①～⑤を選んでいる。算出公式の変化に伴い、過去の分析と一致しない部分がある。本資料は同じ観点でH27～H29を求めた。

平成27年度	平成28年度	平成29年度
--------	--------	--------

①経常収支差額比率 ←経常的な収支バランスを表す比率

【計算式】経常収支差額/経常収入 【評価】高い方が良い 【意味】比率が高いほど自己資金が充実し、経営に余裕をもたらす 【指標】10%以上

	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体
a 教育活動収入計	211,013,635	555,948,676	79,827,750	857,322,361	249,969,443	548,110,513	99,350,001	922,489,821	205,346,155	550,690,452	84,955,190	858,589,538
b 教育活動外収入計	0	0	0	5,313,499	0	0	0	4,346,323	0	0	0	3,279,991
c 特別収入計←施設補助等	300,000	820,000	0	1,120,000	51,040,000	0	8,533,000	59,573,000	34,626,240	935,000	0	35,561,240
d=a+b 経常収入	211,013,635	555,948,676	79,827,750	862,635,860	249,969,443	548,110,513	99,350,001	926,836,144	205,346,155	550,690,452	84,955,190	861,869,529
e=a+b+c 事業活動収入計（参考）	211,313,635	556,768,676	79,827,750	863,755,860	301,009,443	548,110,513	107,883,001	986,409,144	239,972,395	551,625,452	84,955,190	897,430,769
f 教育活動支出計	219,662,651	545,461,790	108,181,594	889,998,472	236,757,751	526,966,054	145,219,956	925,886,819	240,187,648	618,579,066	116,364,076	992,189,294
g 教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
h 特別支出計←除却差額等	34,046	7,727,980	0	7,762,026	46,130,917	31,245	0	46,162,162	8,204,981	1,092,928	0	9,297,909
i=f+g 経常支出	219,662,651	545,461,790	108,181,594	889,998,472	236,757,751	526,966,054	145,219,956	925,886,819	240,187,648	618,579,066	116,364,076	992,189,294
j=f+g+h 事業活動支出計（参考）	219,696,697	553,189,770	108,181,594	897,760,498	282,888,668	526,997,299	145,219,956	972,048,981	248,392,629	619,671,994	116,364,076	1,001,487,203
k=(d-i)/d 経常収支差額比率	-4.1%	1.9%	-35.5%	-3.2%	5.3%	3.9%	-46.2%	0.1%	-17.0%	-12.3%	-37.0%	-15.1%

②人件費比率 ←学校における最大の支出要素であり、適正な水準を見極める

【計算式】人件費/経常収入 【評価】目標値以下か 【意味】経常収入の何%を人件費として支出しているか 【指標】50%未満

	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体
l 人件費	123,324,474	421,337,456	95,273,508	650,864,890	147,274,616	403,838,413	123,272,576	684,851,057	126,889,263	463,023,478	98,698,028	699,076,221
m=l/d 人件費比率	58.4%	75.8%	119.3%	75.5%	58.9%	73.7%	124.1%	73.9%	61.8%	84.1%	116.2%	81.1%

③教育研究経費比率 ←本業である教育活動を維持・充実に不可欠であるが、収支均衡を失わない範囲にあるか

【計算式】教育研究経費/経常収入 【評価】適切な範囲内にあるか 【意味】教育研究経費の経常収入に占める割合 【指標】均衡を失しない限り高い方が良い

	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体
o=f 教育研究経費	82,425,398	115,673,972	9,791,712	207,891,082	76,130,186	114,949,813	20,207,208	211,287,207	100,454,709	146,661,552	14,027,054	261,143,315
p=o/d 教育研究経費比率	39.1%	20.8%	12.3%	24.1%	30.5%	21.0%	20.3%	22.8%	48.9%	26.6%	16.5%	30.3%

④積立率 ←長期的な支払い能力

【計算式】運用資産/要積立額 【評価】高い方が良い 【意味】継続的に保つべき資産に対し、実際どの程度保有しているか 【指標】100%以上保有する

	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体
q 現金預金←資金収入-資金支出と同				272,016,362				394,147,109				367,662,379
r 特定資産				2,316,527,867				2,258,831,737				2,228,511,256
s 有価証券				0				0				0
t=q+r+s 運用資産				2,588,544,229				2,652,978,846				2,596,173,635
u 減価償却累計額				2,666,198,207				2,732,207,686				2,812,404,720
v 退職給与引当金				187,614,641				181,918,511				181,598,030
w 2号基本金（固定資産取得等）				0				0				0
x 3号基本金（奨学・研究基金等）				0				0				0
y=u+v+w+x 要積立額				2,853,812,848				2,914,126,197				2,994,002,750
z=t/y 積立率				90.7%				91.0%				86.7%

⑤流動比率 ←短期的な支払い能力

【計算式】流動資産/流動負債 【評価】高い方が良い 【意味】短期的な支払い能力を示す 【指標】200%以上は優良、100%未満は資金繰りに窮す

	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体	短大	高校	中学	法人を含む全体
A=q+他 流動資産←現金預金・未収入金等				306,910,687				465,383,954				462,418,106
B=未払等 流動負債←未払金・前受金等				88,298,230				117,262,658				133,512,614
C=A/B 流動比率				347.6%				396.9%				346.3%

施設・設備 特記	500万 工事設計費等	7000万 空調関係（防衛省補助対象事業）等
		5300万 修繕費（校舍塗装を含む） 4900万 空調関係（防衛省補助対象事業）等